



第128号

令和5年1月1日発行
大津市京町三丁目1番3号
滋賀県更生保護ネットワークセンター内
滋賀県保護司会連合会
(更)滋賀県更生保護事業協会



【写真上】
滋賀県政150周年記念ロゴマーク

【写真右】
令和4年10月20日、門山宏哲法務副大臣と意見交換を行い、国と地方公共団体の役割分担や連携のあり方の整理や、再犯防止推進施策を継続的・安定的に実施するための更なる財源の確保について要望しました。



誰一人取り残さない
共生社会の実現を

滋賀県知事

三日月 大造

新年あけましておめでとうございませう。
保護司の皆様には、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、安全・安心に暮らすことができる地域社会の実現に向けて、犯罪の防止や罪を犯した者等の立ち直り支援などの取組に御尽力を賜り、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

本県では、昨年9月に滋賀県が誕生してから150年の節目を迎えました。県政150周年のロゴマークには、「人と人の繋がりが、これまでもこれからも滋賀県をつくっていく」というメッセージが込められております。

生きづらさを抱えた人々を支援する保護司の皆様の活動は、

まさにこれからの滋賀県をつくっていく上で不可欠なものであります。

さて、全国的に刑法犯の認知件数は減少しているものの、刑法犯検挙人員の約半数近くは再犯者であり、本県においても同様の状況にあります。こうした中で、再犯防止の推進には保護司の方をはじめとする更生保護関係者の皆様の役割がますます重要になっていくところと見られます。

昨年度より、多年にわたり地域社会における更生保護の推進に多大な貢献をされた方に感謝の思いをお伝えするため、再犯防止民間協力者に対して知事感謝状を贈呈しております。こうした取組を通じて、更生保護の土壌づくりや息の長い継続的な支援の輪をさらに広げていきたいと思います。

犯罪や非行の防止と立ち直り支援は、国や地方公共団体、保護司をはじめとする民間協力者の皆様、そして地域の方々の御理解と御協力をいただきながら、社会全体で取り組むことが重要です。引き続き、お力添えを賜りますようお願いいたします。

結びに、滋賀県保護司会連合会の今後益々の御発展と、保護司の皆様の御活躍、御健勝を心からお祈り申し上げます。

ごあいさつ

大津保護観察所長

多田 美奈子



新年あけましておめでとうございます。令和四年六月に高松保護観察所から転任して参りました。滋賀県での勤務は初めてになります。滋賀県の更生保護関係の皆様、関係機関・団体の皆様と御一緒に活動ができることをうれしく思っております。皆様方から様々なことを御教示いただきながら、重責を果たして参る所存ですので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、令和四年六月十七日に刑法等の一部を改正する法律及び刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整理等に関する法律が公布されました。今後、下位法令の整備が進められることとなります。

更生保護関係の主な改正事項として、刑執行終了者等に対する支援の整備、新たな手法を活用した保護観察処遇の充実のほか、犯罪被害に遭われた方々の思いに込める処遇等の充実強化などがあります。

本年度において、被害者の思

いに込めるため、犯罪被害に遭われた方々の被害に関する心情やその置かれている状況を保護観察対象者に理解させ、慰謝等必要な措置を講ずるよう生活行動指針を設定するなどしてあります。犯罪被害に遭われた方に対して慰謝の措置等を誠実に実行することによって、保護観察対象者に犯罪行為の重大性を認識させ、反省や悔悟の情を深め、再び過ちを起こさない決意を固めることができるよう指導いたします。

しかし、思うように慰謝等の措置が進まないこともあり、本人を支える家族などにも支援・協力を求めながら、犯罪被害に遭われた方々の思いに込められるよう取り組んでいます。

一方、県下では、順次地方再犯防止推進計画を策定していただいております。着実に再犯防止の取組が進められています。この計画は、地域の皆様に再犯防止に関する意識の醸成と地域の安心安全のための活動が地域に根付いていくために欠かせないものであります。

地域の皆様方と手を携えることと、大きな「地域のチカラ」となります。そのチカラが生きづらさを抱えた人々の「生きづらさ」を少しでも緩和でき、生

着任に当たって

更生保護法人滋賀好善会
光風寮施設長

川平 貢 永



新年あけましておめでとうございます。時下ますますご隆昌のこととお喜び申し上げます。

いつもながら皆様には、滋賀好善会の運営や更生保護に関する各事業におきまして、格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、私こと、このたび光風

寮施設長として令和四年十月一日に着任し、早や三か月が経過いたしました。

長引くコロナ禍における各制限のある中、当施設も職員一同、予防対策を講じながら寮生の自立更生を第一に日夜、支援業務に従事しております。

そうした業務の中で、特に心強く思うことがあります。それは、県下の各保護司会、更生保護女性会及び更生保護関係機関の皆様による深いご理解と物心両面にわたってのご支援とご指導の数々です。改めて御礼申し上げます。

今、光風寮は、こうした更生保護施設の機能や社会的役割に対する注目と期待の高まりを受け、継続保護事業、フォローアップ事業の推進はもちろんのこと、地域住民に迷惑をかけるない運営を意識して、地域に信頼され、支えられる施設運営に心掛けております。

合わせてここ数年、自粛により控えていた施設見学も再開していただいております。ぜひ見学に来ていただければ幸いです。

どうか今後一層の御指導、御鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

各保護司会から

更生保護活動を通して思うこと

長浜保護区保護司会東浅井地区区
会長 橋本 弘 道



生きて行くた
め、社会のひずみ
に耐えられなく
なった者が、犯罪

や非行を起こしてしまふ人の要
因になっていきます。更生保護活
動に対する社会的認知度が低い
ことが、活動の難しいところで
あります。特に「社会を明るく
する運動」は、今年72回目であ
りますが、一般的にはそれほど
ど周知・理解されているわけは
ないようです。時代や社会が
変化しても運動の本筋でありま
す「弱者に対する支援」は変わ
らないはずですが。

私は、保護司になり10年程
になります。担当した件数は多
くありませんが、更生保護活動
の難しさを感じています。最近、
犯罪者数が減少し、よい傾向で
ありますが、検挙者に占める再
犯者の割合が50%近くになっ
ています。更生を支援する社会
の受け入れが足りないことにあ
ると思われま。

先日、障害者が自立生活をす
るために支援する障害者施設を
訪れました。そこでは、障害が
ある人もない人もお互いに認め
合いながら、共に生きる社会「共
生社会」を目指しての活動をし
ておられました。その取り組み

の一つである社会的障壁(日常
生活や社会生活を送る上での障
壁)を解消することが必要であ
るとのことでした。障害者に対
する誤った見解・認識を解消す
ることにあります。犯罪や非行
をした人が、それまでの生活で
背負ってきた生き方が起因とな
り、犯罪や非行に繋がってしま
うことが残念でなりません。ま
た受け入れる社会の目が生きづ
らさを抱えてしまうようではい
けません。

今年、長浜保護区では、コロ
ナ禍の中ではありますが、これ
まで自粛していましたが「社会を
明るくする運動」の一環で「啓
発パレード」を実施しました。
市役所でメッセージ伝達式を
行った後、駅までの繁華街を行
進し、えきまちテラスでのスト
リートピアノの演奏やイエロー
ライトアップ等の行事を実施し
ました。啓発活動は続けること
で成果があり、大切な活動であ
ります。その活動をさらに推し
進めるためには、人々の認識を
変えることが必要であります。

障害者の自立生活を支援する
施策と立場は異なりますが、更
生のための社会的障壁を解消す
る支援の仕組みを整えることが
必要であります。立ち直ろうと
する人の「生きづらさ」に想い
を寄せ「息の長い支援」ができ
る施策を通じて、安心して暮ら
せる明るい社会を築くための更
生保護活動が大切だと思ふこと
であります。

高島保護区会長となって

高島保護区保護司会

会長 伊藤 隆 樹



本年度から高島
保護区の保護司会
長の大役をお預か
りすることとな
りました。微力ですが皆さんの
ご協力をいただきながら職務を
遂行してまいりたいと存じます。
どうぞよろしくお願ひいたしま
す。

さて近年、高島保護区は有難
いことに保護観察対象者の数が
減少傾向にあります。保護司定
員24名(実数は25名)の半
数以上が保護観察等の担当をし
ていない状況です。とてもいい
ことだと感謝しております。こ
れが地域性なのか、何に起因す
るのかは明確ではありませんし、
今後いきなり変動(増加)する
ことも考えられます。今後も保
護観察対象者の数が少ないこと
に満足せず、社明運動をはじめ
日々の取り組みや自己研鑽に励
む必要を感じているところです。

また、高島市では「再犯防止
推進計画」の策定について、地
域福祉計画に盛り込む形ではな
く、単独で令和4年3月に策定
をしていただきました。この意
欲的な取り組みは更生保護の活
動を進める者にとって大変心強
い英断であると思ひます。市長
さんはじめ社会福祉課関係の職
員の皆様のご尽力のおかげと、
心より感謝している次第です。

今後はこれらを十分生かせるよ
うに取り組んでいく必要を感じ
ています。

私は保護司になって約10年
になります。まだまだ経験も乏
しく会長という立場にふさわし
い存在とは言いにくいですが、特
に保護司になったころは、研修
会等の集まり以外に他の保護司
さんと接点を持つ機会が少な
く、自分の仕事内容や取り組み
について、先輩からじっくりお
話を聞いたり学ぶ機会が大変少
なかつたように記憶しています。

会議でお会いしても、接点が少
ないので会話も弾みにくい状況
でした。しかし令和元年三月か
ら前大塚会長はじめ市当局の尽
力によりサポートセンターが開
設されたことで、月に1.2度の
当番活動ですが、生活の話、趣
味の話、お仕事の話、保護司と
してのこれまでの体験等々、ゆっ
くりとお話をさせていたたく機
会ができて相互の関係性が非常
に良好になったと感じています。
このことはセンター本来の目的
ではないかもしれませんが、我々
保護司会のつながりを強める大
きな力となっております。

こんな状況の中で、高島保護
区では一人ひとりの保護司が連
携し、より関係性を高めていく
中で保護司会の活動がますます
円滑に進み少しでも会の目的の
達成ができるよう、未だ収まり
きらないコロナ禍の中ではあり
ますが微力ながら尽力して参り
たいと考えております。

イエローライトアップ
が広がっています

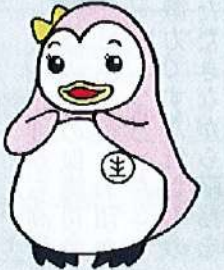


“社会を明るくする運動”滋賀県推進委員会
総理大臣メッセージ伝達 及び イエローライトアップ点灯式



7月1日、滋賀県推進委員会では、びわこ花噴水にて、大臣メッセージ伝達式とライトアップ点灯式を行いました。同じ時刻、大津市推進委員会では、対岸のびわ湖大津館にて、伝達式とライトアップ点灯式を行いました。

第73回では、県内でさらにイ
エローライトアップによる広報
活動が広がればいいですね。



第71回に県内ではじめてライトアップによる広報を行った彦根城は今回もライトアップされたほか、旧豊郷小学校群においてはライトアップ点灯式が江州音頭で盛り上げられました。



さらには、長浜のさざなみタウン、えきまちテラス長浜、旧愛知郡役所(ゆめまちテラスえち)においてもイエローライトアップが行われました。

アンケート結果のあらまし

「見える課題の可視化」や、更生保護への自治体の理解や「フォローアップ事業」がよりよいものになるよう充実発展に資することを目的とする。

令和4年10月1日現在の滋賀県内保護司全員(486名)に調査を依頼。休眠預金を活用した「息の長い支援」基盤整備事業に参加している保護区(大津、守山、近江八幡、彦根、高島、以下「モデル地区」と記載)の保護司240名のうち161名から、その他の保護区の保護司246名のうち169名から回答を得た。

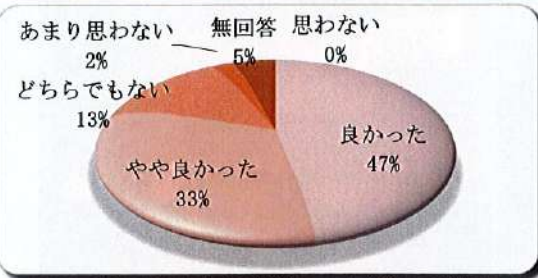


図1 「息の長い支援事業」への参加の感想

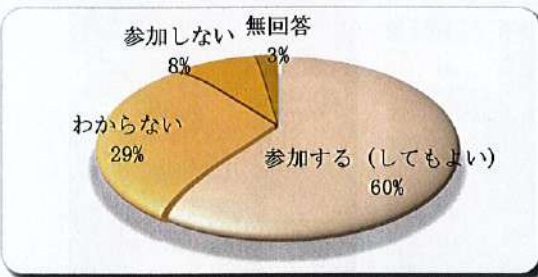


図2 事業への参加意思(モデル地区以外)

1 更生保護団体による「息の長い支援」について

(1) 「息の長い支援事業」への参加の感想

モデル地区内で「更生保護団体による息の長い支援に参加したことがありますか?」については161名中45名の28%であり、本事業に参加した感想については、「良かった」が21名(47%)、「やや良かった」が15名(33%)であり、事業に参加した保護司のうち80%が肯定的に捉えていることが分かった。(図1参照)

(2) モデル地区以外での「息の長い支援事業」への参加の意思

モデル地区以外の保護司169名に対し、所属する保護区で同じような事業が始まった場合参加しますか?については、「参加したい」が102名(60%)、「わからない」が49名(29%)、「参加しない」が14名(8%)であった。(図2参照)

(3) 「息の長い支援」についての考え

「更生保護団体による「息の長い支援」についての自分の考えに近いものを3つ選び順位をつけてください。」については、項目⑨の「再犯防止に貢献できる」が740点 ※(19.3%)で最も点数が高く、かつ68名の保護司が1位に選択した。さらには項目①の「社会的に意義がある」が674点(17.6%)で78名と最も多くの保護司が1位に選択した。



図3 「息の長い支援」についての考え(3つ選び順位づけ)

項目⑩から⑮の否定的な項目の選択は、全体でも364点(9.5%)であり、1位に選択した保護司は33名であった。(図3参照)

(※ 1位6点、2位4点、3位2点として集計)

(4) 「息の長い支援」実施の支障

「更生保護団体が息の長い支援を実施するに際し、支障となることについて、自分の考えに近いものを3つ選び順位をつけてください。」については、「地域社会の理解と協力」が18.5%次いで「支援対象者のニーズにマッチした支援を、準備できるかどうか」、さらには「個人の負担」と続き、実施に向けた課題が明らかになった。

第72回 社会を明るくする運動



各地の活動の様子



大津 再犯防止をテーマに講演会



長浜 ストリートピアノで社明運動をイメージした曲を演奏



近江八幡 更生保護大会で作文発表



草津 街頭啓発前に草津市長・副市長にメッセージ伝達



日野 図書館に特設コーナー設置



湖南 推進大会で市長にメッセージ伝達



東近江 市役所庁舎前で市長にメッセージ伝達後、園児による鼓隊の演奏

令和4年度更生保護事業関係者顕彰式典



令和4年10月20日、びわ湖ホール小ホールにおいて、令和4年度更生保護事業関係者顕彰式典が開催されました。今年度はすべての被表彰者に御案内し、御功績をたたえる機会を設けることができました。

2022年度保護司の意識に関する

「息の長い支援」の促進に留まらず、「更生保護が協力を得ること」を期待し、さらには、新たに開始さう、保護司の思いを集約し、更生保護活動のより一層

2 再犯防止「2022滋賀・更生保護フォローアップ事業」について

(1) 保護観察終了後に相談を受けた経験

「担当終了後に元対象者等の相談に乗ったことがありますか？」については、330名中72名(22%)が「ある」と回答した。39名の保護司が1人、18名の保護司が2人、9名の保護司が3人、6名の保護司が4人以上の相談に対応したと回答した。

(2) フォローアップ事業に対する考え

「担当終了後も担当していた人達の相談に乗ることについて、自分の考えに近いものを3つ選び順位をつけてください。」については、「再犯防止に貢献できる」が912点(24.0%)で、1位選択者は88名と突出して多く、次いで「社会的に意義がある」、「困っている人の役に立つ」を選択した保護司が多かった。

(3) フォローアップ事業に期待する支援

「今後、元対象者等から相談があった場合、どのような支援があればよいか？自分の考えに近いものを3つ選び順位をつけてください。」については、「保護観察所の相談体制」が788点(20.8%)で66名の保護司が1位に選択した。さらに、「保護司個人ではなく、保護司会が相談に対応する仕組み」と「相談対応することの法的裏付け」を選択した保護司が多かった。

(図4参照)

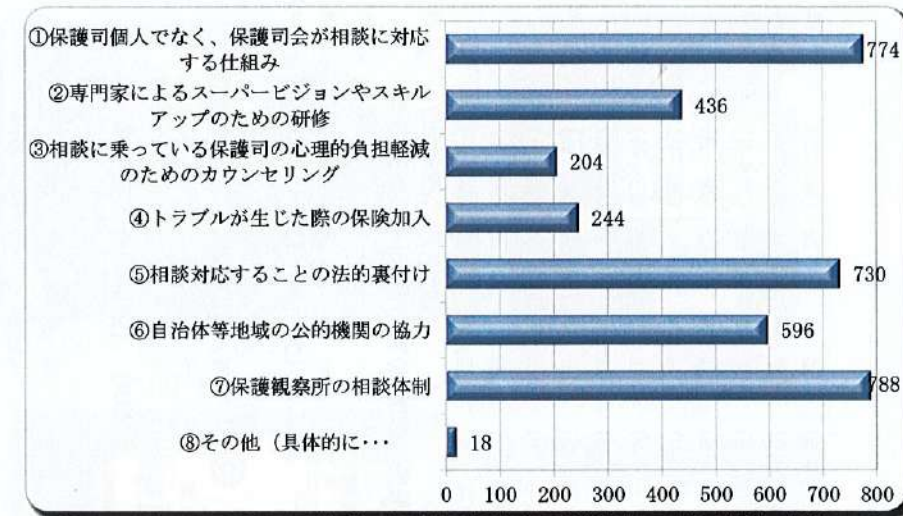


図4 「フォローアップ事業」に対し期待する支援(3つ選び順位づけ)

◇ 更生保護団体による「息の長い支援」事業に関して

- * 「息の長い支援」事業モデル地区の保護司161名中45名(28%)の参加があり、そのうちの80%が「参加して良かった・やや良かった」と肯定的に捉えていた。事業に参加していない保護司についても、ほぼ半数以上が「参加したい・参加する(してもよい)」と前向きに捉えていることが分かった。
- * 事業に対する考えについては「再犯防止に貢献できる」と「社会的に意義がある」を選択する保護司がもっとも多かった。
- * 否定的な項目の選択は、9.5%に留まった。
- * 事業実施に際する支障については、「地域社会の理解と協力」「支援対象者のニーズにマッチした支援を準備できるか」「個人の負担」の項目の選択が多かった。

◇ 再犯防止「2022滋賀・更生保護フォローアップ」事業に関して

- * 元対象者等の相談に乗ったことのある保護司は72名(22%)にのぼった。
- * 事業に対する考えは、「再犯防止に貢献できる」「社会的に意義がある」「困っている人の役に立つ」等、肯定的な考えが多くを占めた。
- * 一方で、フォローアップ事業実施にあたっては「保護観察所の相談体制」や「保護司会が相談に対応する仕組み」「法的裏付け」の支援を求める保護司が多かった。
- * 「その他欄」においても「保護司の活動範囲を超えるものである」「保護司のボランティア的な活動に頼るのではなく体制を整えるべき」との意見等もいただいた。
- * そういった課題を踏まえながらも「フォローアップを検討可」という保護司が115名(35%)も居られることは大変心強い。



令和四年度更生保護事業関係者顕彰式典被表彰者名簿

表題の式典が令和四年十月二十日(木)滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールにおいて開催されました。当日、表彰を受けられました皆様を、次のとおり紹介いたします。(敬称略・順序不同)

- 〔叙勲〕(2名)
 - (秋)長浜 漢 正史
 - (春)東近江 園 了
- 〔藍綬褒章〕(3名)
 - (秋)彦根 柴田 謙
 - (春)大津 川崎 孝夫
 - (春)長浜 福永利 平
- 法務大臣表彰
 - 〔更生保護女性会員〕(3名)
 - (大津)徳永 恵美子 (甲賀)辻 好子
 - (近江八幡)犬井 郁子
 - 〔保護司〕(10名)
 - (大津)川口 正徳 (大津)田中 さゆり
 - (草津)香月 明 (草津)田中 孝
 - (守山)三品 正親 (東近江)上林 真
 - (東近江)深尾 智子 (東近江)東川 嘉一
 - (彦根)元持 美代子 (長浜)高月 賢一
 - 法務大臣感謝状
 - 〔更生保護女性会員〕(3名)
 - (大津)徳永 恵美子 (甲賀)辻 好子
 - (近江八幡)犬井 郁子
 - 〔保護司〕(11名)
 - (大津)井野 泰雄 (大津)郡 司
 - (大津)小嶋 定雄 (大津)佐々木 了
 - (大津)馬場 恭子 (東近江)寺本 了
 - (東近江)恵

- 〔家族功労者〕(1名)
 - (大津)脇岡 裕子
- 日本更生保護女性連盟会長表彰
 - 〔更生保護女性会員〕(7名)
 - (草津)卯田 美千代 (守山)上 路 美智代
 - (野洲)齊内 芳江 (甲賀)川村 和代
 - (湖南)由利 教子 (東近江)山 中 多美枝
 - (長浜)清水 英子
- 再犯防止民間協力者滋賀県知事感謝状
 - 〔保護司〕(3名)
 - (草津)河田 美智子 (長浜)面 川 衛
 - (高島)前川 則彦
- 〔更生保護女性会員〕(5名)
 - (大津)川村 外久子 (草津)宮崎 千鶴子
 - (栗東)社納 久子 (甲賀)福永 昭子
 - (東近江)那須 雅實
- 〔BBS会員〕(1名)
 - (草津)西本 敬太
- 近畿地方更生保護委員会委員長表彰
 - 〔保護司〕(29名)
 - (大津)稲田 庄太郎 (大津)川口 博
 - (大津)田崎 朋司 (大津)八 軒 勉
 - (大津)前川 朋子 (大津)山 口 剛
 - (草津)榎戸 道夫 (草津)川 瀬 善 剛
 - (草津)内藤 正規 (草津)日 野 英 宣
 - (守山)奥野 哲司 (守山)尾 谷 孝
 - (甲賀)今井 和子 (甲賀)門 井 治
 - (甲賀)白木 栄純 (甲賀)安 井 夫
 - (東近江)北澤 克美 (東近江)布 田 三
 - (東近江)間宮 寿史 (東近江)山 田 耕 一郎
 - (近江八幡)島本 深照

- 近畿地方更生保護委員会委員長感謝状
 - 〔更生保護女性会員〕(17名)
 - (大津)小島 和代 (大津)本郷 あけみ
 - (草津)棚橋 清子 (栗東)里内 利加
 - (守山)今井 美恵子 (野洲)吉川 秀子
 - (甲賀)隠岐 登美代 (甲賀)里見 まさを
 - (甲賀)寺田 ひろみ (甲賀)福村 とき江
 - (日野)八木 久子 (東近江)福山 千恵乃
 - (愛荘)北村 愛子 (長浜)影山 真弓
 - (長浜)浅野 ひろ子 (長浜)美濃部 真弓
 - (米原)丸本 比佐乃
- 近畿地方保護司連盟会長表彰
 - 〔保護司〕(28名)
 - (大津)大原 薫男 (大津)小島 和代
 - (大津)野原 信子 (守山)富田 久和
 - (大津)大澤 信子 (甲賀)中野 孝
 - (甲賀)野瀬 昌子 (甲賀)松島 静
 - (甲賀)山尾 道雄 (東近江)種村 京子
 - (東近江)日永 よし子 (東近江)杉本 真美
 - (近江八幡)本多 昌道 (近江八幡)村井 淳一
 - (彦根)北村 昌武 (彦根)杉原 祥浩
 - (彦根)多賀 昌宏 (長浜)織田 恭 浩
 - (彦根)柴田 正明 (長浜)赤井 義 照
 - (長浜)雲根 隆敏 (長浜)蒲生 恵 子
 - (長浜)徳永 嘉之 (高島)中 和 行
 - (高島)高月 眞壽 (高島)増田 修 学
 - (高島)江 眞彰
- 〔家族功労者〕(2名)
 - (甲賀)中本 小夜子 (近江八幡)木俣 幾和
- 近畿更生保護施設連盟会長表彰
 - 〔更生保護法人役職員〕(1名)
 - (滋賀好善会)八幡 知行

再犯防止「2022滋賀・更生保護フォローアップ事業」の実施状況について

滋賀県保護司会連合会 事務局

保護司の皆様のご理解とご協力をいただき、保護司会連合会の令和4年度の新たな事業、再犯防止「2022滋賀・更生保護フォローアップ事業」を推進してまいりましたので、これまでの実施状況を報告いたします。

1. 下記の日程で、事業内容等の説明会を開催しました。

Table with 4 columns: NO, 実施日・時間, 開催場所, 対象保護司会. Lists 11 events across various locations like 高島, 長浜, 草津, 大津, 彦根, 守山, 近江, 甲賀, 高島, 草津.

○開催場所：11ヶ所、○説明会：1時間～1.5時間/回、○出席者：9保護区延べ306名

2. フォローアップ事業の実施件数は以下の通りです。

Table with 7 columns: 件数, R4/7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 計. Shows 13 total events.

3. フォローアップ事業の内容と実施回数

- ①就労先でのトラブル相談や医療機関受診への対応 ・1件×4回
②仕事上の事故による障害に悩む方の生活相談・医療機関受診への支援 ・1件×3回
③仕事先でのトラブル等の相談・定着支援 ・2件×各2回
④仕事先の拘束時間等の相談 ・1件×1回
⑤起業の手続き・準備等の相談 ・1件×1回

4. 今後の対応

- ①昨年10月に実施された、保護司への第2回アンケート結果を参考にして、フォローアップ事業への参加意思を示された保護司の皆様との情報交換を行います。
②保護区の支部、分区、部会等小単位の会議開催時に、必要により、事務局が同席して、情報を収集します。
③保護区との情報交換を継続します。

近畿更生保護女性連盟会長表彰

- 【更生保護女性会員】(19名)
(大津) 卯野 小夜子
(高島) 山本 悦子
(草津) 中村 敏枝
(甲賀) 杉本 秀子
(甲賀) 八木 妙子
(湖南) 豊永 町子
(東近江) 村井 元子
(彦根) 藤澤 勝美
(長浜) 杉山 久美
(米原) 三田村 道代

大津保護観察所長表彰

- 【保護司】(24名)
(大津) 佐藤 祐子
(大津) 本庄 敏行
(草津) 稲垣 保善
(草津) 太田 和之
(守山) 木村 義春
(甲賀) 黄瀬 毅
(甲賀) 宮治 幸
(近江八幡) 東 敬子
(長浜) 徳田 清孝
(長浜) 西村 圭司
(長浜) 笹原 徳光
(高島) 伊原 実

大津保護観察所長感謝状

- 【更生保護女性会員】(43名)
(大津) 上野 康代
(大津) 谷 照子
(大津) 日下 政子
(高島) 河原田 洋子
(草津) 國松 雪枝
(草津) 横江 好美
(守山) 石原 美登里
(野洲) 川端 初美
(甲賀) 北村 ゆみ子
(甲賀) 福岡 多喜子

【BBS会員】(3名)

- (草津) 岩井 優果
(草津) 細田 晟希
(大津) 山本 忠雄
(大津) 京都信用金庫
(大津) 琵琶湖汽船株式会社
(甲賀) 甲賀市立城山中学校
(彦根) 早川工業株式会社
(長浜) えきまち長浜株式会社

滋賀県保護司会連合会会長表彰

- 【保護司】(33名)
(大津) 石本 耕一
(大津) 佐竹 扶佐
(大津) 本郷 由紀子
(草津) 藤田 恵理子
(草津) 山中 多恵子
(守山) 松並 義照
(甲賀) 黒川 昌明
(甲賀) 竹若 佳代子
(東近江) 吉川 芳恵
(近江八幡) 齋藤 純代
(彦根) 浅居 純
(彦根) 小川 隆史
(彦根) 西坊 正憲

滋賀県就労支援事業者機構会長表彰

- 【賛助会員】(13名)
(長浜) 樋口 幸永
(長浜) 杉野 美香
(高島) 梅村 妙子
(高島) 平松 成美
(長浜) 川崎 新司
(長浜) 筑田 昭浩
(高島) 桂田 孝司
(大津) 伊藤 茂
(大津) 相間 芳和
(大津) 竹澤 かつ子
(大津) 花澤 富美子
(大津) 金澤 正次
(大津) 上田 藤市郎
(大津) 木村 準一
(大津) 佐伯 一恵
(大津) 塚本 綾子
(大津) 柴田 利平
(大津) 福永 利平
(大津) 前川 壽美恵

(注) 氏名について、一部常用漢字としていません。

株式会社アバンセコーポレーション 関西営業所



謹賀新年

大津保護観察所
所長 多田 美奈子
滋賀県保護司会連合会
会長 津田 正慎
更生保護法人
滋賀県更生保護事業協会
理事長 大道 良夫



荣誉に輝く受章者

更生保護功勞により、それぞれ佳日「文化の日」に、栄えある受章に輝かれました。心からお祝いを申し上げます。

瑞宝双光章

保護司の異動 (敬称略)

▽新任 令和4年12月1日付
大津 川平 貢 子
大津 杉浦 智 子
大津 山田 裕 敏 子
守山 青木 裕 敏 子
甲賀 谷口 克 彦 子
甲賀 畑口 恵 美 子
日野 音羽 了 俊 子
近江八幡 西川 利 俊 子
彦根 北川 幸 和 子
彦根 森田 幸 和 子
長浜 脇坂 充 子
米原 兒玉 優 子
東近江 高木 邦 彦 子
高島 木原 淳 彦 子

▽退任 令和4年9月30日付
大津 小野 修 修
大津 中川 修 修
大津 馬場 恭 子
守山 永井 綾 子
甲賀 大原 美 智 子
甲賀 杉本 正 紹 子
東近江 寺岡 義 證 子
近江八幡 加納 隆 集 子
彦根 竹平 義 彰 子
彦根 寺村 英 彦 子
米原 大鹿 則 彦 子
高島 前川 則 彦 子

敬 弔

生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

◇大津保護区
保護司 北村重治氏
(令和四年七月二十二日逝去)

◇元保護司 大槻郁子氏
(令和三年七月十日逝去)

◇草津保護区
保護司 南出儀一郎氏
(令和四年七月二十九日逝去)

新賛助会員紹介

新しく県更生保護事業協会の賛助会員にご入会いただいた皆様を紹介いたします。

(前号以後十一月三十日分まで)

【大津】 寺田 英 幸 様
半田 育 子 様
川本 雅 史 様
川戸 良 幸 様

【守山】 川戸 良 幸 様

★篤志者寄附金★
更生保護事業のため、次の方からご寄附を頂きました。
ありがとうございます。

【大津市】 川崎 孝 夫 様
一〇〇,〇〇〇円

【長浜市】 北村 ひろみ 様
四五,〇〇〇円
福永利 平 様
一〇〇,〇〇〇円

◇今年もよろしくお祈いします。

(編集委員会)
委員長 辻 ひとみ
副委員長 朽木 徳 壽
委員 久村 幸 彦
委員 橋本 弘 道
委員 川崎 孝 夫
委員 中川 和 良
委員 大津保護観察所
(印刷) 株式会社ハン六

◇甲賀保護区
元保護司 山本 修 氏
(令和四年八月二十五日逝去)

元保護司 鶴飼 洋子 氏
(令和四年九月十五日逝去)

◇東近江保護区
元保護司 吉田 信子 氏
(令和四年五月八日逝去)

元保護司 吉崎 宗太郎 氏
(令和四年九月二十日逝去)

◇彦根保護区
元保護司 而澤 志津 氏
(令和四年八月二十三日逝去)

元保護司 奥野 文雄 氏
(令和四年八月二十日逝去)

元保護司 谷口 瑞明 氏
(令和四年九月二十五日逝去)

元保護司 西山 静子 氏
(令和四年十月十四日逝去)

◇長浜保護区
元保護司 木村 喜美夫 氏
(令和四年七月十日逝去)

元保護司 横関 悦子 氏
(令和四年八月十九日逝去)

滋賀県保護司会連合会役員

令和5年1月1日現在(順不同・敬称略)

役名	氏名	所属保護司会等	専門部会役職等
会長	津田 正 慎	草津保護区保護司会長	総務部長
副会長	辻 ひとみ	守山保護区保護司会長	地域活動部長
副会長	漢 正 史	長浜保護区保護司会米原地区会長	調査研修部長
副会長	中江 義 一	近江八幡保護区保護司会長	協力組織部長
常務理事	川口 正 徳	大津保護区保護司会長	総務部副部長
常務理事	上阪 よう子	東近江保護区保護司会長	調査研修部副部長
理事	中本 欽 三	甲賀保護区保護司会長	
理事	久村 幸 彦	東近江保護区保護司会日野地区会長	
理事	平田 敦 之	彦根保護区保護司会長	
理事	羽 溯 久 晃	長浜保護区保護司会長兼 長浜保護区保護司会長浜地区会長	協力組織部副部長
理事	橋本 弘 道	長浜保護区保護司会東浅井地区会長	
理事	友田 昭 夫	長浜保護区保護司会伊香地区会長	
理事	伊藤 隆 樹	高島保護区保護司会長	
理事	朽木 徳 壽	草津保護区保護司会栗東支部会長	地域活動部副部長
理事	徳永 恵美子	大津保護区保護司	
理事	川崎 孝 夫	保護司会連合会・企画調整保護司	事務局長
監事	北川 孫 雄	彦根保護区保護司	
監事	北井 和 子	大津保護区保護司	

更生保護法人 滋賀県更生保護事業協会役員・評議員

令和4年10月1日現在(順不同・敬称略)

役名	氏名	職業等	役名	氏名	職業等
理事長	大道 良 夫	(株)滋賀銀行相談役	評議員	日爪 泰 則	県中小企業団体中央会専務理事
副理事長	河本 英 典	綾羽(株)社長	評議員	明石 芳 夫	県市長会事務局長
副理事長	北村 嘉 英	草津電機(株)会長	評議員	猪飼 隆 幸	県町村会事務局長
常務理事	津田 正 慎	県保護司会連合会会長	評議員	石河 康 久	県商工会連合会専務理事
理事	平尾 道 雄	県市長会代表・米原市長	評議員	山本 久 子	滋賀弁護士会会長
理事	吉田 郁 雄	守山市教育委員会委員	評議員	川口 正 徳	大津保護区保護司会長
理事	上西 保	県商工会連合会会長	評議員	辻 ひとみ	守山保護区保護司会長
理事	深尾 善 夫	県農協中央会専務理事	評議員	中本 欽 三	甲賀保護区保護司会長
理事	伊藤 定 勉	県町村会会長	評議員	上阪 よう子	東近江保護区保護司会長
理事	小椋 秀 男	(株)平和堂総務部長	評議員	久村 幸 彦	日野地区保護司会長
理事	脇岡 勇 夫	弁護士・保護司	評議員	中江 義 一	近江八幡保護区保護司会長
理事	木村 隆 恵	(一財)近畿健康管理センター理事長	評議員	平田 敦 之	彦根保護区保護司会長
理事	高木 慈 恵	僧侶・保護司	評議員	羽 溯 久 晃	長浜保護区保護司会長
理事	菅江 克 弘	りそなみらいズ(株)社長	評議員	橋本 弘 道	東浅井地区保護司会長
理事	石川 一 郎	京都新聞滋賀本社代表	評議員	漢 正 史	米原地区保護司会長
理事	大原 和 代	県更生保護女性連盟会長	評議員	友田 昭 夫	伊香地区保護司会長
理事	八幡 知 行	県就労支援事業者機構理事・公認会計士	評議員	伊藤 隆 樹	高島保護区保護司会長
理事	高木 淳 一	県造園協会会長	評議員	齋藤 貞 子	元保護司
監事	辻 淳 夫	団体役員	評議員	浅田 幸 作	湖友会代表世話人
監事	北井 和 子	保護司	評議員	横田 重 子	県更生保護女性連盟副会長
評議員	廣瀬 年 昭	県商工会議所連合会専務理事	評議員	徳永 恵美子	更生保護女性会会員・保護司